

秋意あり砥石のうすき凹みにも 主宰 細野恵久 福祉3期

細波に崩るる砂紋十三夜 三枝邦光 美工5期

ルーペ手に山岳地図を読む夜長 國永靖子 音文6期

常一膳妻のお代わり栗ごはん 猿橋二三雄 福祉8期

トアロード三鬼のホテルに秋暮色 加藤善巳 美工8期

火の入りていよよ生田の薪能 太田 實 国際9期

秋灯し百人一首を書き終ぬ 大下絹子 国際15期

二百歳夫婦円満金木犀 中村建生 国際15期

秋の昼天文台は硝子拭く 藤本武子 国際15期

かぐや姫隠る御簾なし月探查 山下 進 国際15期

舞鶴港帰還者の眼に彼岸花 許斐國照 食文15期

苔寺や千代の爽気の満ちて黙 沖本牙辺子 国際17期

背を叩くやうな露天湯天高し 香春早苗 国際17期

首塚へ垂るる稲穂や鐘の音 仲田眞輔 国際17期

旅靴盗人萩を連れ帰る 中村富美子 国際17期

遅延便待つ空港の夜寒かな 宮本眞貴子 国際17期

湯の庭の景は里山萩こぼる 宮本公子 健福17期

つるべ落とし帰宅のチャイム五時になり 大山吉春 国際18期

身に入むや黒き鑿跡狸堀り 小栗恭子 健福18期

大渦の伊豫来島や望の月 潮江敏弘 健福18期

鉢巻を稚児もきりりと秋祭 野見山剛 健福18期

満月に覗かれてゐる明り窓 今井義和 美工20期

啄木鳥や小屋の主と茶碗酒 尾崎吾郎 美工21期

夫の待つプラットホーム羊雲 黒木早苗 食文21期

運動会足に目印頼む婆 宮脇暁美 食文21期

爽籟も異国語で翔ぶ鹿の秋 藤川敏子 国際22期

白萩やまた一人逝き野辺の径 大歳敦子 健福22期

湯に浮きし乳房にふれて今日の月 大田直子 生選22期